
全国市長会 週報 = JACM WEEKLY NEWS =

第 1629 号 令和 5 年 2 月 13 日発行

■□■ も く じ ■□■

◆ トピックス	1
◇ 「自由民主党「こども・若者」輝く未来実現会議」が開催され、吉田・本庄市長が出席	
◆ 全国市長会 先週の動き	2
◆ 国の会議等の動き	2
◆ 市長の選挙	3
◆ 市長の退任	3
◆ 訃報	3
◆ 全国都市数	4
◆ ご案内	4
◇ 第 13 回都市調査研究グランプリ（CR-1 グランプリ）表彰式を開催	

◆◆◆ トピックス ◆◆◆

◇ 「自由民主党「こども・若者」輝く未来実現会議」が開催され、吉田・本庄市長が出席

2月6日、「自由民主党「こども・若者」輝く未来実現会議」が開催され、本会から社会文教委員会委員長の吉田・本庄市長が出席した。

吉田・本庄市長からは、本会としては、岸田総理の異次元の少子化対策に大変期待するものであり、特に「こども家庭庁」の創設は意義があり、司令塔としての機能を果たしていただきたい。その上で、①子育て支援全般については、自治体間に格差が生じないよう安定的かつ十分な地方財源の確保をお願いしたい。また、国と地方が功を争うのではなく、十分に連携をしながら施策を実施すべきと考えている。異次元の対策と言うからには、例えば、全国一律の子ども医療費助成制度の創設等を実現していただきたい、②困難な環境にある子育て世帯への支援等については、i) 教育支援、生活支援、就労支援、居場所づくり支援及び経済的支援等について、必要な措置を拡充するとともに、抜本的な解決につながる制度の構築を行っていただきたい、ii) 義務教育はもとより、高校教育も含めすべての教育について、どの自治体に居住していても、また親の経済状態に関わらず、満足のいく教育が受けられるよう子ども施策の中に位置付けておく必要がある、③少子化対策と

子育て支援については、少子化は待ったなしの状況であることから、国家的見地、将来の展望を持って、人々の意識の問題や労働環境の改善など、あらゆることに国が先々を見据えながら進めていくべきであり、この機会に大胆かつ具体的な対応をお願いしたい等の発言を行った。

(本会HP参照)

https://www.mayors.or.jp/p_action/a_mainaction/2023/02/230208miraijitugen.php

[社会文教部]

◆◆◆ 全国市長会 先週の動き 2月6日～2月10日 ◆◆◆

≪2月6日(月)≫

「**全国雪寒都市対策協議会**」では、今冬の積雪状況等に鑑み、「大雪に伴う雪寒都市への財政支援に関する要望」を関係省庁及び関係国会議員に提出した。

同要望では、特別交付税の算定に当たり大雪に伴う市道や公共施設の除排雪経費をはじめとした財政需要を的確に反映することなどを求めている。

[経済部]

≪2月9日(木)≫

「**全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会**」を開催。防衛施設周辺整備全国協議会会長の山口・千歳市長からあいさつの後、全国基地協議会会長の朝長・佐世保市長が議事進行を務めた。

初めに、総務省の天利・固定資産税課長並びに防衛省の村井・総務課長から、令和5年度基地関係予算案について説明を受けた。

続いて、令和5年度基地関係予算対策等に関する報告事項の後、「令和5年度両協議会合同定期総会」について協議し、原案のとおり決定した。

最後に、今後の運営等について、事務局から合同役員会に先立ち開催の「**全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議**」において協議した令和5年度両協議会合同定期総会までの間の運営について報告するとともに、令和5年度の主な会議予定と併せ、国の動向等を注視し、正副会長と相談のうえ、適宜適切に対応することについて説明し了承された。

会議終了後、両協議会の正副会長が、令和5年度基地関係予算の確保に係るお礼等のため、関係国会議員にあいさつを行った。

[社会文教部]

◆◆◆ 国の会議等の動き ◆◆◆

≪2月8日(水)≫

「第52回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会」がWEB会議により開催され、新型コロナワクチンの今後の接種の在り方、組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（9価HPVワクチン）について審議。

本会から清元・姫路市長が出席し、①2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針（案）について、住民の利便性を向上させる取組や個別の医療機関で十分に対応できるシステム等が伴えば、妥当な方針である、②組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（9価HPVワクチン）について、接種を推奨する立場として、住民が安心して接種を受けられるよう、サポート体制やワクチンに係る正しい知識等の普及・啓発を推進されたい等の発言を行った。

[社会文教部]

《2月14日（火）10：00》

「第30回中央環境審議会総会」が開催され、中央環境審議会の審議状況及び当面の諸課題等について審議。本会から高橋・稲城市長がオンラインで出席予定。

[経済部]

◆◆◆ 市長の選挙 ◆◆◆

（選挙日）	（市名）	（市長名）	（ふりがな）	（期数）
2月12日	神奈川県厚木市	山口 貴裕	やまぐちたかひろ	1期（新任2月23日）
2月19日	兵庫県丹波篠山市	酒井 隆明		5期（2月12日無投票）

注）新任の日付は、任期起算日です。

新任市長名につきましては、字体の変更がある場合もあります。

[総務部]

◆◆◆ 市長の退任 ◆◆◆

（退任日）	（市名）	（市長名）
2月12日	岩手県陸前高田市	戸羽 太

[総務部]

◆◆◆ 訃報 ◆◆◆

◇ 高野・豊島区長が逝去

東京都豊島区長・高野之夫氏（85歳）が、2月9日（木）に逝去されました。
謹んでお知らせいたします。

[総務部]

◆◆◆ 全国都市数 令和5年2月13日現在 ◆◆◆

= 815 都市 =

政令指定都市	20
中核市	62
施行時特例市	23
一般市	687
特別区	23

[調査広報部]

◆◆◆ ご案内 ◆◆◆

◇ 第13回都市調査研究グランプリ（CR-1グランプリ）表彰式を開催

公益財団法人日本都市センター（以下、当センター）では、全国の都市自治体で行った調査研究や都市自治体職員が自主的に行った調査研究を募集し、特に優秀な作品を表彰する「都市調査研究グランプリ（以下、CR-1グランプリ）」を、2010年度から実施しています。

今年度の第13回CR-1グランプリでは、応募のあった15件を対象に、審査委員による審査を行い、4件の入賞作品を決定し、表彰しました。

表彰式では、第13回CR-1グランプリ審査委員会の横道清孝座長（政策研究大学院大学特別教授）からの入賞者への賞状の授与、全体講評に引き続き、各受賞者から調査研究の発表及び意見交換会が行われました。

なお、選考結果概要及び講評は、当センターHP及び機関誌『都市とガバナンス』で紹介し、広く調査研究事例を共有、全国の都市自治体やその職員の調査研究能力の向上に寄与することとしています。

【受賞者】

○最優秀賞（1件）

受賞者：上田 一成（うつのみや市政研究センター（宇都宮市））

調査研究：学校施設の活用に影響を与える要因に関する調査研究

○優秀賞（1件）

[実務部門]

受賞者：西条市自治政策研究所

調査研究：アクアトピア水系および周辺公共施設を活かしたまちづくりに向けた具体的な事業の立案～住みたい西条の実現に向けた水辺空間を活用した賑わいの創出へ～

○奨励賞（2件）

〔政策基礎部門〕

受賞者：盛岡市まちづくり研究所

調査研究：盛岡市における子育てのあり方について－保護者の子育ての楽しさ・つらさと子ども・子育て支援活動に着目して－

〔政策基礎部門〕

受賞者：三浦 魁斗（うつのみや市政研究センター（宇都宮市））

調査研究：石材取扱い業者の価値認識と関与の実態にもとづく大谷石の再利用方策に関する調査研究

※CR-1 グランプリについては、<https://www.toshi.or.jp/grandprix/>を参照

※調査研究の概要と講評は、機関誌「都市とガバナンス」第39号（2023年3月発行）に掲載予定

[公益財団法人日本都市センター研究室]

【 発 行 】

全国市長会 調査広報部

〒102-8635 東京都千代田区平河町 2-4-2

TEL:03-3262-2316 FAX:03-3263-5483

ホームページ：<https://www.mayors.or.jp>

内容・記事に関するお問い合わせメール：jacm@mayors.or.jp

「週報」の情報は全国市長会HPでもご覧いただけます。
